



団地T PICS

さまざまな団地で行われた
イベント活動をお知らせします。



笑顔はじける

苦勞した分おいしい！

お手軽手打ちさぬきうどん教室を開催

パークタウン西武庫(兵庫県尼崎市)

5月9日、パークタウン西武庫団地で団地内交流のきっかけ作りを目的とした「お手軽手打ちさぬきうどん教室」を開催。2歳から80歳代まで幅広い年齢層の団地住民23人が参加して、講師の香川県大阪事務所スタッフからうどん作りを学びました。

大半の参加者にとってうどん作りは初めて。粉を生地にしていって「水回し」、コシを出す「足踏み」「寝かし」、長細い麺に仕上げていく「延ばし」「麺切り」の各工程を体験しました。中でも、参加者が苦勞していたのが「延ばし」の工程です。「体重をかけて生地を伸ばしていきってください」というスタッフの声に後押しされて、威勢よくコロコロと麺棒を前後させる参加者たち。それでも10分近く全力で作業を行うと多くの方がヘトヘトになっており、「手が痛い」「毎日やっている人は大変だね」と麺作り



の大変さを実感されていました。麺を切って、最後は試食タイム。「やっぱりできたてがおいしいね」「いっぱい食べちゃった」と、打ち立てうどんのごしを楽しんでいました。香川県出身の女性は「昔よく親が作っていて、私は食べる専門だった。今日打ったうどんは、夫に食べさせたい」と笑顔で話していました。



1. 麺棒でひたすら生地を伸ばします。ぼく、ちょっと飽きてきた？ 2. 講師が手慣れた様子で各工程を実演してくれました 3. 「打つのは大変やけど、切るのは気持ちええなあ」 4. うどんのおかわりに殺到する子どもたち。麺やつゆを始めとする香川県の特産品コーナーも設けられました 5. うどん作りをきっかけに会話も弾みました



いつもの景色がもっと好きになる

風景画に親しむ絵画教室を開催

武庫川(兵庫県西宮市)

5月29日、8回目となる絵画教室が武庫川団地のお祭り広場で開かれました。室内で野菜など静物を描いた過去7回と異なり、今回のテーマは屋外で描く風景画。心配された雨も降らず、過ごしやすい曇り空の下での開催となりました。

講師の橋弘先生の「こつは近くにあるものは太く濃く、遠くにあるものは細く薄く描くこと」とのアドバイスをともに、参加者19人は思い思いの場所を描き始めました。この絵画教室は参加者が自分のペースで風景を描き、創作に詰まったら橋先生がアドバイスするスタイル。武庫川団地の風景塗り絵も準備され、絵が苦手な人も楽しめていたようです。「建物を描く時は下にいくほどだんだん広く」「先に高さがあるものを画面に配置してから全体のバランスを整えて」といった指導を受けながら、参加者



1. あまり暑くなく、絶好のデッサン日和となりました 2. 建物のユニークな輪郭をどう描けばよいか、先生からアドバイスをもらいます 3. 大好きな樹木を夢中で描く参加者の女性 4. 橋先生が各作品のいいところを挙げていくと、皆しきりにうなずいていました 5. 友人の絵を見て「明るい、いいね」



健康作りをきっかけに交流促進を

健康測定会を初実施

花園団地(京都市右京区)

6月2日、花園団地第1・第2集会所で団地と花園学区の住民を対象とした健康測定会が開催されました。主催は、京都市花園地域包括支援センターを中心に、京都市右京区地域介護予防推進センターとURコミュニティ京都住まいセンターの3団体からなる「花園いきいきプロジェクト」。単身高齢世帯を中心に住民の孤立が進む花園団地において、現状把握と地域交流の活性化を目指した初めての試みです。

イベントのメインは測定コーナーです。体組成計や血圧計など多くの機器が並ぶ中、人気は骨密度と脳年齢の測定器。「骨密度が良くなかった」「脳年齢が実年齢より12歳若くてうれしい」など、多くの声が飛び交っていました。結果については、医療専門職のボランティアが日頃生活の中で心がけることをアドバイス。数字に基づいた説得力ある言葉に、参加者はしきりにうなずいていました。



1. 気軽に健康チェックや骨密度・脳年齢測定ができるとあって多くの人でにぎわいました 2. ボランティアスタッフが手引きする。椅子に座ったままできる体操 3. 看護師や作業療法士、管理栄養士、ケアマネジャーといった各分野のプロが、ボランティアとしてさまざまな相談に応じていました 4. 交流の場になっていた休憩コーナーの第2集会所



初めての生活支援アドバイザーイベント

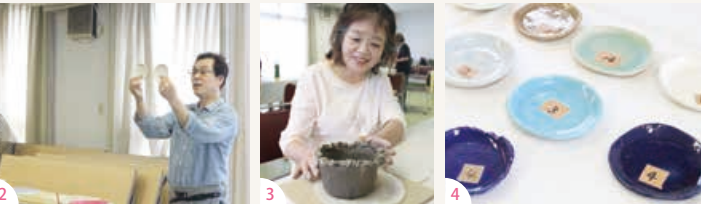
焼き上がりが楽しみ！出張陶芸教室

男山団地(京都府八幡市)

「あんしんコール」やポストの見回りなど、高齢の居住者に対する暮らしのバックアップを担う「生活支援アドバイザー」。昨年からの活動が始まった男山団地で、6月12日に「出張陶芸教室」が開催されました。

60歳以上の皆さんを対象に、当日は25人が参加。アートセラ移動陶芸の三上博司先生を講師に迎え、にぎやかな時間を共有しました。2つずつ用意された丸い粘土は信楽焼の土。手のひらでポンポンとたたきながら平たくしてお皿、指で穴を開けて風鈴にと、まずは先生のデモンストレーションから。「失敗してもやり直せますから気軽に楽しんでください」。各テーブルをまわりながら、アドバイスやちょっとしたコツを伝授してくださいました。

シンプルな平皿や大き目のフリーカップ、おしゃれな鉢カバーや花器など、自由な発想で和気



1. 陶芸はまったく初めてという人も楽しみながら 2. 釉薬の説明をする三上先生 3. 「鉢カバーの焼き上がりが楽しみです！」 4. あざやかな18色の中から選びます



コミュニティニュース

平城第2
(奈良市右京)

お酒を酌み交わして住民交流 ワンコイン居酒屋「輪」

春の集い、夏祭り、防災訓練、餅つきなど年間を通じて自治会活動が盛んな平城第2団地。ここで2017年6月から始まったのがワンコイン居酒屋「輪」です。

現在は2カ月に1回のペースで開催し、ワンセット500円でお酒とおつまみ3品、またはソフトドリンクとおつまみ4品を提供しています。「団地内に独居の高齢男性が増えていることから、一人で食事をするのではなく、お酒を酌み交わしながら住民同士の交流を深めてもらえたら」との思いで始めました」と話すのは自治会長の谷本芳子さん。ウリは手作りのおつまみとサーバーから注ぐ生ビール。「高齢の

方にも喜んでいただけるよう、おつまみのメニューに知恵を絞っています」。居酒屋を始めて1年。徐々に“常連さん”も増え、オープンと同時にほぼ満席になることもあるそうです。ここで知り合った方同士で2次会に行くケースや、子どもを連れて参加する若い家族の姿も見られるそうで「住民交流の場として、手応えを感じています」とのこと。参加者の若い女性が「普段あまり接する機会がない世代の方とお酒を飲みながらざっくばらんに話ができる。毎回、開催を楽しみにしています」と話すように、お酒を介した住民の「輪」は着実に広がっています。



1. 常連の方も初めて参加する方も、年齢を超えて交流できるのが魅力です 2. 枝豆、肉じゃが、フライドポテトなど、手作りのおつまみが数多く並びます 3. 谷本会長自ら調理する焼きそば。ソースのいい香りが部屋いっぱいに広がります

vol.9

団地テナント 気になるお店

男山団地
(京都府八幡市)
株式会社創ing工房

「楽しい！」を創造するデザイン工房

パンフレットや名刺などの印刷物をはじめ、看板や売場のPOP、似顔絵から手作りグッズまで幅広いジャンルを手掛ける「株式会社創ing工房」。今年で創業22年目を迎え、4月から男山中央商店街で新たなスタートを切りました。扉を開けると、出迎えてくれたのはカラフルなシジユカラの「ちっぴー！」たち。八幡市の子育て支援センターからの依頼で誕生したイクキャラ(育みのキャラクター)で、かぶり物は一つ一つ手作りののだそう。「昨年制作した市のPR動画(YouTubeで配信中)でも大活躍したんですよ」と笑う代表の桑原由香子さん。女性スタッフと共にアイデアを出しながら企画・制作を進めてきた「八幡市PR大作戦」は、この街の魅力をたくさんの人に伝えたい

という思いが原動力となりました。新しい地でさらに力を入れていきたいのが、デジタルの似顔絵。還暦や退職、米寿などのプレゼントにも好評で、データとして永久保存できることが強みです。先祖代々の遺彰の作成なども、気軽に相談を。また、チビっ子たちからも親しまれている「ちっぴー！」も団地のイベントなどに積極的に参加できれば、と桑原さん。住民の皆さんと楽しいひとときを共有していきたいですねと語ってくれました。

SHOP DATA

★ 八幡市男山八望3-1 B50-101 ☎ 075-754-6955

☎ 月～金曜 10:00～18:00 ☎ 土・日曜、祝日

※ 京阪本線「榊原」駅からバス約8分、または「八幡市」駅からバス約11分、またはJR学研都市線「松井山手」駅からバス約20分「中央センター前」駅下車徒歩すぐ



1. 八幡市の鳥・シジユカラをモチーフにした「ちっぴー！」たちと 2. オフィスの2階は広々とした作業スペース兼集いの場 3. アイデアと猫愛がギャップと詰まった、オリジナルのサニタリー3点セット

団地に歴史あり

団地とともに歩んだ60年

びわ湖美空(滋賀県大津市)

定年退職を機に、団地でセカンドライフを堪能しています。団地には年代を感じるものも多く、建設当時の日本住宅公団のマークの杭など、その歴史を日々感じています。

(びわ湖美空・中里博司)



懐かしい団地写真を
募集しています！

懐かしい風景、暮らしの一場面など、みなさんがお持ちの思い出の写真をお寄せください。紙面に掲載させていただいた方にはクオカード(3,000円分)を進呈します。※対象は「日本住宅公団」「住宅・都市整備公団」など、UR都市機構の団地に限定させていただきます。詳しい応募方法は7ページをご覧ください。

